

インターネット利用に関わるリスク因子の探索

－ 女子学生の質問紙調査に基づく欲求因子とネット上のトラブルの関連 －

On Risk Factors of the Internet Usage

- Correlation Between Quantity of Trouble Using the Internet and Intensity of Desire Factor of Women Students -

豊田 雄彦
Yuhiko Toyoda
田代 光輝
Mitsuteru Tashiro
市川 博
Hiroschi Ichikawa
竹内 美香
Mika Takeuchi

抄 録 インターネットの普及と利用開始の低年齢化にともない、その利用にまつわるリスクも増大している。本研究は適正なインターネット利用をはかるために、インターネット利用上のトラブルと個人の欲求特性になんらかの関連があると考え、個人の欲求特性に適合した教育ツールを開発することを目的とする。そのために女子学生に欲求とネット上のトラブルの経験について質問紙により調査を行った。回答結果について因子分析を行った結果、欲求に関する「他者への従属」「生理的欲求への耐性」「外見美の重視」「正当性の重視」「賞賛獲得」「安全への欲求」「快樂・新奇性の追求」「逸脱した刺激の追求」という 8つの因子を見出すことができた。これらの因子で欲求特性を表すことにより、各人の因子得点を計算し、「覚えのない請求のメール・メッセージを受け取ったことがある」経験の頻度と「逸脱した刺激の追求」因子の因子得点において、経験の頻度が増すほど、因子得点が高いなどの、因子得点とネット上のトラブルについて一定の関連があることを見いだせた。この関連性を利用し、今後、教育ツールの開発に着手する。

キーワード インターネット 情報倫理 教育ツール コミュニケーション 欲求尺度
Internet Information ethics Technology tools for education Communication Needs Scale

- | | |
|---------------------|----------------------------------|
| 1. はじめに | 3.3 因子得点とトラブル経験の相関 |
| 1.1 ネットリテラシー育成の必要性 | 4. トラブル経験ごとの考察 |
| 1.2 欲求の特徴と行動の関連 | 4.1 トラブル経験と因子得点の平均値 |
| 2. 研究の方法 | 4.2 欲求尺度の測定による予測されるトラブルの注意喚起の可能性 |
| 2.1 質問紙による調査 | 5. おわりに |
| 2.2 回答結果の統計処理 | 5.1 研究結果利用の方向性 |
| 3. 調査結果 | 5.2 今後の課題 |
| 3.1 欲求に関する因子の測定 | |
| 3.2 ネット上でのトラブル経験の状況 | |

1. はじめに

1.1 ネットリテラシー育成の必要性

インターネットの普及により大きく利便性は向上した。その一方、インターネットの利用によるリスクの増加が、大きな社会問題となっている。こうした状況を社会は座視しているわけではなく、国際的には OECD による勧告（OECD 青少年保護勧告）、日本では OECD 勧告に基づき ILAS (Internet Literacy Assessment indicator for Students) といった指標が作成されている。

教育においても中学校、高等学校、大学の各段階で情報倫理にまつわる教育が実施されている。インターネット利用の低年齢化を考えると早期に情報倫理・セキュリティ教育を実施することは重要である。しかしながらこうした施策は、かならずしも十分な効果を与えているとは言い難い。

例えば、警察庁の発表によれば平成 25 年、ネット（出会い系およびコミュニティサイト）をきっかけとして犯罪に巻き込まれた未青年の数は 671 名。国民生活センターの発表によれば平成 25 年のインターネットの取引に関する相談は 6,891 件にのぼる

情報倫理やセキュリティについて、画一的な指導を行っても、本人に届きづらいのではないだろうか。本人の特性に応じて、必要なアドバイスを行えるような仕組みが必要ではないかと考えたのが、本研究のきっかけである。

1.2 欲求の特徴と行動の関連

ネットの利用に関するトラブルは田代 (2011) によれば、金銭にまつわるトラブル（詐欺、不達、盗品・違法品、返品、請求）、コミュニケーションのトラブル（スパム、誘

い出し、いじめ、犯罪予告）、管理上のトラブル（不正情報、リーク、漏洩・流出、不正アクセス、ハッキング）、心身に関するトラブル（ネット依存、ゲーム依存）が挙げられている。

日常における問題行動やリスクへの曝露はなんらかの欲求がその動因になっていると予測される。先行研究においても、悪徳商法のリスクに曝されやすい要因として社会的所属の欲求、賞賛獲得欲求、自尊感情が関わっていること [竹内・鈴木 2000]、刺激欲求性の強い人はインターネット上で非道徳的な行為をおこなう傾向にあること [Yumiko NARA, Minako YOSHII 2002]、アダルトサイトやインターネットのデートサイトに接続する者は刺激欲求が強いこと [Arai et al 2010]、薬物、飲酒、喫煙の依存、乱用と刺激欲求尺度が正の相関を示すなど [古澤 2013] の例が示されている。「日常生活において道徳的に考えふるまうひとは、インターネット上でも倫理的に良好な意識・行為を示している」という調査結果 [Yumiko NARA, Minako YOSHII 2002] もあり、こうした日常モラルとインターネット利用に伴うリスクは関連があると考えられている。

2. 研究の方法

2.1 質問紙による調査

本研究では個人の欲求尺度とネット利用上のトラブルの経験の関連を明確にするために質問紙による調査をおこなった。質問内容は付表 1 に示すとおりである。欲求尺度を測定する質問は SRMT (Self Risk Management Test) として竹内・鈴木により開発されたものを利用した。調査対象は大学、短期大学の女子学生 1～3 年生である。調査時期は 2014

年 7 月である。454 件の有効な回答が得られた。

2.2 回答結果の統計処理

欲求尺度を明確にするために、得られた質問紙の回答に対し因子分析を行い、最尤法により因子を抽出した。各因子には相関がないものと仮定し、因子の回転 (Varimax) を行った。固有値が 1 以上の因子が 18 因子抽出されたが、ランダムなデータを因子分析した結果と比較して (図 1)、乱数より求められた因子より固有値の大きな 8 因子を欲求尺度として採用した。回答者別に 8 因子の因子得点を求め、ネットトラブルの経験の頻度との相関を求めた。有意な相関があった項目に対し、トラブルの経験の頻度ごとの分布を求め、有意な差があるか検証した。

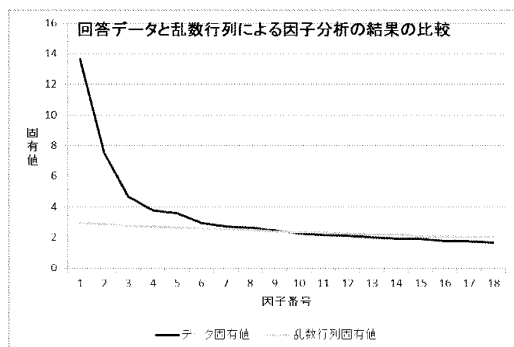


図 1 回答データと乱数行列による因子分析の結果の比較

3. 調査結果

3.1 欲求に関する因子の測定

測定された因子と各質問間の因子負荷量は表 1 に示すとおりである。第 1 因子として抽出されたものは「相手の気分を害するのではないかと不安で、言いたいことが言えないこともある」「頼まれたら『嫌だ』と言えないと

ころがある」「他の人と違う意見なら黙っていることが多い」「他の人の意見に合わせて自分の判断を変えることもある」「仲間同士の気分をよくするために自分が我慢することも多い」「気がつくと、他の人たちと同じような行動をとっていることがある」「コンパなどで仲間が盛り上がっている時、ひとりだけ先に帰れないと思う」「状況が「危険」なのか「安全」なのか、他の人からの情報で判断することも多い」「他の人から感謝されるようなことがしたい (されるような人になりたい)」「ひとりでいると不安になる」「他の人が喜ぶことは何でもしてあげたい」といった質問項目からの因子負荷量が高い。他者への従属性を示す尺度といえる。以上の項目を下位尺度として α 係数を算出すると 0.735 となり、尺度の内的整合性は高いと判断される。

第 2 因子は「身体が苦しいことは避けて通りたい」「身体的な限界に自分を追い込むことはしたくない」「『身体がきつい』仕事や課題は我慢できない方だ」「持久力はあまりない」「気持ちに体力が伴わない」「体力がなくて、どうしてもしたいと思っていたことをあきらめたことがある」「空気・水・食物からは、できるだけ汚染部室を除去するよう努力したい」といった質問項目からの因子負荷量が高く、生理的欲求に対する耐性のなさを表す尺度と考えられる。以上の項目を下位尺度とした場合の α 係数は 0.675 となる。

第 3 因子は「高価だが、ブランド商品が好き」「流行に敏感な服装や髪型や化粧をしている」「立派な服や物を身につけていると安心する」「真理や完全な美に憧れていて、自分でも近づきたいと思っている」「新しい遊びや食べ物を他の人より先に試したい」「からだに悪い食べ物を避け、『〇〇に効く』と言われるもの

表1 因子負荷量

質問	因子							
	1	2	3	4	5	6	7	8
相手の気分を害するのではないかと不安で、言いたいことが言えないこともある	.668	.154	-.042	.061	.026	-.046	-.065	-.028
頼まれたら「嫌だ」と言えないところがある	.667	-.047	.044	.069	-.028	-.010	.030	.069
他の人と違う意見なら黙っていることが多い	.550	.196	.037	-.106	-.157	.094	-.116	-.040
他の人の意見に合わせて自分の判断を変えることもある	.526	.134	.134	-.045	-.032	.212	.156	.005
仲間同士の気分をよくするために自分が我慢することも多い	.500	.053	-.015	.138	.022	-.023	-.053	-.024
気がつくつと、他の人たちと同じような行動をとっていることがある	.395	.092	.280	.080	-.019	.297	.078	-.099
コンパなどで仲間が盛り上がっている時、ひとりだけ先に帰れないと思う	.344	-.076	.155	-.048	-.111	.047	.118	-.182
状況が「危険」なのか「安全」なのか、他の人からの情報で判断することも多い	.297	.147	.036	-.014	.034	.257	.085	.008
他の人から感謝されるようなことがしたい（されるような人になりたい）	.265	-.100	.055	.131	.218	.146	.176	-.133
ひとりである不安になる	.229	.206	.056	.051	.102	.181	-.039	.045
他の人が喜ぶことは何でもしてあげたい	.210	-.147	.099	.173	.054	.129	.188	.025
身体が苦しいことは避けて通りたい	.093	.676	.091	-.038	-.044	-.083	.036	.030
身体的な限界に自分を追い込むことはしたくない	.033	.601	-.006	-.056	-.079	.001	-.034	-.131
「身体がきつい」仕事や課題は我慢できない方だ	.027	.507	.104	-.002	.068	.076	.042	.017
持久力はあまりない	.032	.504	.011	-.031	-.021	-.029	-.058	-.011
気持ちに体力が伴わない	.149	.468	-.024	.108	.027	.120	-.096	.101
体力がなくて、どうしてもしたいと思っていたことをあきらめたことがある	.117	.340	.151	.069	.150	.208	-.008	.155
空気・水・食物からは、できるだけ汚染部室を除去するよう努力したい	-.011	.268	.119	.190	.023	-.075	.132	-.065
高価だが、ブランド商品が好き	.033	.155	.665	.033	.070	.027	.043	.072
流行に敏感な服装や髪型や化粧をしている	.099	.019	.622	-.004	.085	.102	.030	-.035
立派な服や物を身につけていると安心する	.179	.111	.531	.045	.122	.203	.012	.105
真理や完全な美に憧れていて、自分でも近づきたいと思っている	.127	.030	.353	.049	.185	.062	.107	.065
新しい遊びや食べ物を他の人より先に試したい	.013	-.067	.315	.141	.164	.135	.260	.075
からだに悪い食べ物を避け、「〇〇に効く」と言われるものを食べるようにしている	-.002	-.080	.307	.094	.082	.168	.076	.028
曲がったことは嫌いだ	-.042	-.067	.042	.700	.126	.050	-.019	.020
正しい人間でありたい	.115	.065	.147	.646	-.106	.159	.017	-.071
間違っていることを見たら許せない「正義漢」だと思う	.012	-.052	-.024	.568	.141	.018	.034	.011
純粋な生き方に憧れている	.137	.146	.016	.343	.138	.074	.092	-.036
他の人から注目されることが好きだ	-.144	-.142	.119	.032	.567	-.004	.168	.070
チャンスがあれば、ミュージシャンや俳優やタレントになりたい	-.026	.028	.052	.074	.549	.125	.108	.079
特別な人間でありたい	.005	.020	.289	.200	.531	.101	.031	.142
「一般人」「その他大勢」「大衆」にはなりたくない	-.048	.059	.021	.194	.502	-.063	.003	.113
向上心にあふれた人間だ	-.072	-.299	.281	.194	.298	.144	.268	.021
生活に刺激を求めている	.018	.049	.010	-.004	.274	.040	.036	.195
安全のための「お守り」や「おまじない」を信じている	.109	-.017	.174	.055	.039	.695	.102	.010
「安全」や「縁起」のために良いといわれることなら、ことわざや迷信でも気を使う	.066	.011	.100	.136	.053	.690	.077	.009
好奇心が強い方だ	-.078	-.129	.035	.130	.103	.091	.609	.208
おいしい食べ物や気持ちのよいことに誘惑されやすいかもしれない	.149	.051	.114	-.037	.134	.086	.524	.057
面白いこと、愉快なことが大好きだ	-.021	-.038	.012	.013	.085	.105	.487	-.021
今までに経験したことがないようなことを試してみたい	.124	-.076	.116	.094	.176	-.005	.266	.169
お金持ちになりたい	.005	.228	.107	.006	.177	-.006	.248	.119
自分が快適であることに對して、わがままなところもあると思う	.049	.183	.205	.163	-.021	.169	.204	-.015
危ないことやスリルのある遊びが好きだ	-.066	-.161	.055	.013	.028	-.030	.082	.814
もし法律で罰せられないなら、試してみたいことがある	.036	.091	-.005	.002	.130	.161	-.053	.478
危険・違法とわかっていることを、スリルのために、わざと試したことがある	-.036	.087	.062	-.056	.176	-.060	.199	.329
自分にしかできない「独自の」何かを完成させたいと願っている	.046	.051	.100	.264	.287	-.005	.031	.249
身体的な快楽を追及するタイプだ	-.045	-.157	.132	.022	.102	-.043	.190	.220
地震や災害のうわさ・デマを聞いて、非常用の準備をしたことがある	.021	.180	.053	.129	.043	.203	.067	.049
遊園地などでは、スリルのあるジェットコースターやフリーフォールが好きだ	.022	-.049	.008	.018	.038	.071	.101	.121
バンジー・ジャンプやスカイダイビングを試してみたい	-.020	-.172	-.008	-.026	.101	-.024	-.008	.096
なりたと思うものになるためには努力を惜しまない	-.017	-.285	.200	.104	.104	.057	.169	.072
絶対的に信じられる相手や人物に出会いたい	.138	.232	.090	.248	-.016	.049	.051	.057
環境汚染の影響や感染症は自分の努力で防ぐことができると思う	.025	-.045	.054	.132	.073	.088	.060	.049
汚染されていることが話題になったような食品は食べないようにする	.121	.025	.144	.091	.043	.065	-.009	.045
地震や災害は、その能力や知識を持った人なら予知できるのだと思う	.035	.042	.035	-.034	.080	.165	-.219	.030
他の人に自慢できるような友達や恋人が欲しい	.169	.050	.222	.128	.179	.157	.104	-.009
親、友人、他の人からほめられたい	.162	-.002	.156	.132	.159	.146	.159	-.016
感染症の流行についての情報は敏感な方だと思う	.022	.082	.126	.140	.076	.101	.095	-.039
清潔な衣類・おいしい食物・快適な住居などに恵まれていて、苦労したことがない	-.080	.033	.206	.012	-.064	-.070	.088	-.090
新しいことをする時は、ひとりよりも何人かの仲間と一緒に試したい	.125	.077	.100	.003	-.068	.110	.054	-.142

を食べるようにしている」などの質問項目からの因子負荷量が高く、外見的な美しさを重視する尺度と考えられる。以上の項目を下位尺度として α 係数を算出すると0.722となる。

第4因子は「曲がったことは嫌いだ」「正しい人間でありたい」「間違っていることを見たら許せない『正義漢』だと思う」「純粋な生き方に憧れている」といった質問項目の因子負荷量が高く、正当性を重視する尺度と考えられる。以上の項目を下位尺度として α 係数を算出すると0.647となる。

第5因子は「他の人から注目されることが好きだ」「チャンスがあれば、ミュージシャンや俳優やタレントになりたい」「特別な人間でありたい」「『一般人』『その他大勢』『大衆』にはなりたくない」「向上心にあふれた人間だ」「生活に刺激を求めている」といった質問項目からの因子負荷量が高く、賞賛獲得に関する尺度と考えられる。以上の項目を下位尺度として α 係数を算出すると0.725となる。

第6因子は「安全のための『お守り』や『おまじない』を信じている」「『安全』や『縁起』のために良いといわれることなら、ことわざや迷信でも気を使う」といった質問項目からの因子負荷量が高く、安全欲求に関する尺度と考えられる。以上の項目を下位尺度として

α 係数を算出すると0.723となる。

第7因子は「好奇心が強い方だ」「おいしい食べ物や気持ちのよいことに誘惑されやすいかもしれない」「面白いこと、愉快なことが大好きだ」「今までに経験したことがないようなことを試してみたい」「お金持ちになりたい」「自分が快適であることに対して、わがままなところもあると思う」という質問項目に関する因子負荷量が高く、快楽・新奇性を追求する尺度と考えられる。以上の項目を下位尺度として α 係数を算出すると0.616となる。

第8因子は「危ないことやスリルのある遊びが好きだ」「もし法律で罰せられないなら、試してみたいことがある」「自分にしかできない」「独自の何かを完成させたいと願っている」「身体的な快楽を追及するタイプだ」といった質問項目に対する因子負荷量が高く、規範から逸脱した刺激を求める欲求の尺度と考えられる。以上の項目を下位尺度として α 係数を算出すると0.579となり、やや低い値である。

3.2 ネット上でのトラブル経験の状況

インターネットを利用するに際し、遭遇したトラブルの状況について「まったくない」「ときどきある」「ある」「よくある」「非常によくある」「ときどきある」「ある」「よくある」「非常

表2 ネットで遭遇したトラブルの頻度

質問	まったくない	ときどきある	ある	よくある	非常によくある	加重平均
インターネットによる通信販売・オークションで品物が届かずキャンセルことがある	393	26	28	1	3	0.22
インターネットによる通信販売・オークションで返品に応じてもらえなかった経験がある	402	26	20	2	1	0.17
管外の安い請求のメール・メッセージを受け取ったことがある	204	55	112	38	41	1.24
違法な薬物などの購入を呼びかけるメール・メッセージを受け取ったことがある	398	16	20	9	8	0.25
知らない人から誘いのメール・メッセージを受け取ったことがある	127	89	139	46	49	1.56
読んで不愉快になるメール・メッセージを受け取ったことがある	137	103	123	42	45	1.46
自分の送ったメール・メッセージで相手を不愉快にしたことがある	239	126	69	9	6	0.70
ネットに書き込んでいるデータを信じることがある	119	176	108	30	19	1.23
ネットをする時間が多く、日常生活に支障がでていると思う	148	131	80	50	42	1.35

表 3 因子得点とトラブルの相関係数

		相関分析							
		他者への 従属	生理的 欲求への 耐性	外見美 の重視	正当性 の重視	賞賛獲得	安全への 欲求	快樂・新奇 性の追求	逸脱した 刺激
インターネットによる通信販売・オークションで品物が届かなかったことがある	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	-.073 .128 434	.074 .124 434	.109* .024 434	.012 .809 434	.029 .553 434	-.036 .460 434	-.007 .890 434	.066 .172 434
インターネットによる通信販売・オークションで返品に応じてもらえなかった経験がある	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	-.057 .234 434	.074 .124 434	.075 .119 434	-.033 .493 434	.097* .043 434	-.002 .970 434	-.070 .146 434	-.002 .966 434
覚えのない請求のメール・メッセージを受け取ったことがある	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	.005 .916 433	.021 .659 433	.079 .102 433	-.051 .289 433	.060 .215 433	.010 .832 433	.072 .134 433	.105* .029 433
違法な薬物などの購入を呼びかけるメール・メッセージを受け取ったことがある	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	-.057 .234 434	.015 .750 434	.154** .001 434	-.010 .834 434	-.004 .940 434	.055 .257 434	-.049 .312 434	.052 .277 434
知らない人から誘いのメール・メッセージを受け取ったことがある	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	.093 .054 433	.052 .282 433	.101* .036 433	-.060 .211 433	.036 .460 433	-.064 .185 433	.103* .032 433	.111* .021 433
読んで不愉快になるメール・メッセージを受け取ったことがある	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	.086 .072 434	.110* .021 434	.066 .170 434	.013 .781 434	.055 .252 434	-.004 .940 434	.136** .005 434	.111* .020 434
自分の送ったメール・メッセージで相手を不愉快にしたことがある	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	.054 .259 433	.039 .413 433	-.013 .784 433	.000 .998 433	.122* .011 433	.078 .105 433	.085 .078 433	.072 .137 433
ネットに書かれているデマを信じたことがある	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	.155** .001 435	.084 .079 435	.040 .403 435	-.009 .852 435	.162** .001 435	.155** .001 435	.083 .083 435	.048 .318 435
ネットをする時間が多く、日常生活に支障がでていると思う	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	.139** .004 434	.190** .000 434	.024 .622 434	.040 .408 434	.133** .006 434	.070 .143 434	.112* .020 434	.062 .194 434
ゲームをする時間が多く、日常生活に支障がでていると思う	Pearson の相関係数 有意確率 (両側) 度数	-.055 .249 434	.117* .015 434	-.090 .060 434	.025 .608 434	.111* .021 434	.098* .042 434	.040 .407 434	.063 .191 434

** 相関係数は 1% 水準で有意 (両側)

* 相関係数は 5% 水準で有意 (両側)

によくある」の 5 件法で調査を行った。その結果を表 2 に示す。

「まったくない」を 0、「非常によくある」を 4 として、それぞれ重み付けした件数を加

重平均すると「知らない人から誘いのメール・メッセージを受け取ったことがある」がもっとも平均値が大きく、ついで「読んで不愉快になるメール・メッセージを受け取った

ことがある」といった受動的経験が占めている。ついで「ネットをする時間が多く、日常生活に支障がでていると思う」も平均値が高い。「ときどきある」から「非常によくある」と回答した問題を自覚している人の割合は全体の67%におよぶ。ネットの利用に関して十分に注意喚起すべき問題である。

以下「覚えのない請求のメール・メッセージを受け取ったことがある」「ネットに書かれているデマを信じたことがある」「自分の送ったメール・メッセージで相手を不愉快にしたことがある」という経験がつづき、7番目に「ゲームをする時間が多く、日常生活に支障がでていると思う」の平均点が高い。「ときどきある」から「非常によくある」と回答した問題を自覚している人の割合は全体の32%で、単なるネット依存に比較すると半数以下であるが、対策を考えるべき数字である。

3.3 因子得点とトラブル経験の相関

回答者の欲求の特性を把握するために3.1で求めた因子により回答者ごとの因子得点を求めた。欲求の特性とインターネット上でのトラブルとの関連を調べるために、因子得点とインターネット利用に際してのトラブルの頻度との相関係数を調べると表3のようになった。相関係数は最大でも0.19程度であり、大きな相関は見当たらない。これはインターネット利用時のトラブルは欲求といった内的要因のみで生じられるものではなく、外的要因や偶然も作用すると考えられるからである。またオークション利用時のトラブルなどは外的要因が強いと一般的に考えられるが、今回はリスクに曝されやすい内的要因を探るという視点で考えることとする。

相関係数は小さいものの「ネットに書かれているデマを信じたことがある」というトラブルと「従属性を示す」第1因子をはじめとする8の相関係数に関しては帰無仮説に対して1%水準で有意であり、「読んで不愉快になるメール・メッセージを受け取ったことがある」というトラブルと「生理的欲求に対する耐性のなさを表す」第2因子をはじめとする13の相関係数に関しても同様に5%水準で有意である。

4. トラブル経験ごとの考察

4.1 トラブル経験と因子得点の平均値

関連の詳細な状況を分析するために、因子得点とインターネット利用上のトラブルの頻度との相関で有意であった組み合わせに対して、トラブルの頻度ごとに因子得点を平均し、その差が見いだせるか検証を行う。

4.1.1 「インターネットによる通信販売・オークションで品物が届かなかったことがある」トラブルと因子得点の関係
商品未達に関するトラブルの頻度ごとに「外見的な美しさを重視する」因子の因子得点の平均を求めると表4-1のとおりとなった。

表4-1 「外見美の追究」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0247878	382	.82429727
ときどきある	.0190743	24	1.05848249
ある	.2167588	24	.96987155
よくある	.0644086	1	
非常によくある	1.0887647	3	.65664927
合計	-.0011019	434	.84895489

「よくある」「非常によくある」といった頻度の度数が少ないため、決定的なことは言えないが、「まったくない」と回答している群の平

均値に対して、トラブルの経験のある群が高い平均値を示していることがわかる。

4.1.2 「インターネットによる通信販売・オークションで返品に応じてもらえなかった経験がある」トラブルと因子得点の関係

返品に応じてもらえなかったトラブルの頻度ごとに「賞賛獲得」に関する因子の因子得点の平均を求めると表 4-2 のとおりとなる。商品未達のトラブルと同様に「よくある」「非常によくある」という頻度が少ないため、決定的なことは言えないが、「まったくない」と回答している群の平均値に対して、トラブルの経験のある群が高い平均値を示していることがわかる。

表 4-2 「賞賛獲得」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0208378	391	.83254424
ときどきある	.0061203	24	.72106926
ある	.2596919	16	.72449503
よくある	1.0678860	2	.49166290
非常によくある	.6462865	1	
合計	-.0024506	434	.82448107

4.1.3 「覚えのない請求のメール・メッセージを受け取ったことがある」トラブルと因子得点の関係

覚えのない請求に関するトラブルの頻度ご

表 4-3 「規範からの逸脱」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0802754	201	.95518075
ときどきある	-.0355660	53	.84177380
ある	.0714369	107	.78441766
よくある	.0823823	36	.74736178
非常によくある	.2123315	36	.77592312
合計	.0005383	433	.87260277

とに「規範から逸脱した刺激を求める」因子の因子得点の平均を求めると表 4-3 のようになった。頻度が大きくなるごとに平均値が増加している様子が確認できる。

4.1.4 「違法な薬物などの購入を呼びかけるメール・メッセージを受け取ったことがある」トラブルと因子得点の関係

違法な誘いに関するトラブルの頻度ごとに「外見的な美しさを重視する」因子の因子得点の平均を求めると表 4-4 のようになった。頻度が大きくなるごとに平均値が増加している様子が確認できる。

表 4-4 「外見美の追究」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0485813	384	.84919208
ときどきある	.2743432	15	.88853959
ある	.3539879	18	.66846963
よくある	.3580873	9	.70553118
非常によくある	.5584094	8	.87107263
合計	-.0011019	434	.84895489

4.1.5 「知らない人から誘いのメール・メッセージを受け取ったことがある」トラブルと因子得点の関係

誘い出しに関するトラブルの頻度ごとに「外見的な美しさを重視する」および「規範から逸脱した刺激を求める」因子の因子得点の平均を求めるとそれぞれ表 4-5-1～2 のようになった。

「外見的な美しさを重視する」に関しては頻度ごとに単調増加してはいないが、「まったくない」群に対して、トラブルの経験のある群は平均値が大きい様子が確認できる。「規範から逸脱した刺激を求める」因子の平均値は頻度が増すごとに平均値が増加している様子

が確認できる。

表 4-5-1 「外見美の追究」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.1222001	126	.86847925
ときどきある	.0498728	85	.78803813
ある	-.0182040	133	.84255276
よくある	.1583462	44	.82270395
非常によくある	.1552235	45	.92648095
合計	.0008617	433	.84894961

表 4-5-2 「規範逸脱」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.1559479	126	.96969870
ときどきある	.0360961	85	.80309606
ある	.0485769	133	.84478817
よくある	.0492857	44	.79299452
非常によくある	.1726731	45	.85406788
合計	-.0004196	433	.87399804

4.1.6 「読んで不愉快になるメール・メッセージを受け取ったことがある」トラブルと因子得点の関係

不愉快なメッセージを受け取るトラブルの頻度ごとに「生理的欲求に対する耐性のなさ」「快樂・新奇性を追求する」および「規範から逸脱した刺激を求める」因子の因子得点の平均を求めるとそれぞれ表 4-6-1～3 に示す通りである。

「生理的欲求に対する耐性のなさ」因子に関する因子得点の平均値については頻度が「よくある」「非常によくある」という高頻度となると平均値が増加している。「快樂・新奇性を追求する」因子に関する因子得点の平均値については頻度が「非常によくある」と回答している群の平均値が高い。

表 4-6-1 「欲求耐性」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0470248	135	.88287794
ときどきある	-.0586090	101	.91273908
ある	-.0849656	114	.90247893
よくある	.1727445	42	.76919302
非常によくある	.3240892	41	.82952008
合計	-.0014106	433	.88513658

表 4-6-2 「快樂追求」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0691088	135	.86787702
ときどきある	-.0932889	101	.82865089
ある	.0199956	114	.83194634
よくある	.0013030	42	.72301348
非常によくある	.3953377	41	.73080317
合計	.0010714	433	.83102945

表 4-6-3 「規範逸脱」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.1675338	135	.90482410
ときどきある	.0510364	101	.87268976
ある	.0515864	114	.80958225
よくある	.1122377	42	.79102585
非常によくある	.1630698	41	.98024532
合計	-.0028648	433	.87447320

「規範から逸脱した刺激を求める」因子の因子得点の平均値に関しては頻度が増すごとに平均値も増加していることが確認できる。

4.1.7 「自分の送ったメール・メッセージで相手を不愉快にしたことがある」トラブルと因子得点の関係

相手を不愉快にさせたトラブルの頻度ごとに「賞賛獲得」因子の因子得点の平均を求めると表 4-7-1 のようになった。頻度が大きくなるごとに平均値が増加している様子が確認できる。表 4-7-2 に示す「規範逸脱」因子についても同様の傾向を示している。

表 4-7-1 「賞賛獲得」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0774009	233	.84712983
ときどきある	.0297021	120	.79971113
ある	.0970138	64	.74678324
よくある	.3827553	9	.96019398
非常によくある	.5403926	6	.85351102
合計	-.0039256	432	.82486131

表 4-7-2 「規範逸脱」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0337157	411	.86783171
ときどきある	.5105368	10	.90244801
ある	.3368655	8	.77033613
よくある	.6503689	2	.05734886
非常によくある	1.1709291	3	.97684158
合計	-.0028648	434	.87447320

4.1.8 「ネットに書かれているデマを信じたことがある」トラブルと因子得点の関係

デマを信じた経験の頻度ごとに「他者への従属性」「賞賛獲得」および「安全欲求」因子の因子得点の平均を求めるとそれぞれ表 4-8-1～3 に示す通りである。デマを信じた経験の頻度が多いほど「他者への従属性」因子得点の平均値が高くなっていることが確認できる。

表 4-8-1 「他者従属」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.2084702	115	.97706345
ときどきある	.0168900	171	.80670311
ある	.0827446	102	.83178390
よくある	.2338447	28	.91389099
非常によくある	.2936187	19	1.07059448
合計	-.0011943	435	.88696995

「賞賛獲得」因子得点の平均値については経験のない群に比べ、経験のある群の平均値が

大きい。「安全欲求」因子得点の平均値についても経験のない群に比べ、経験のある群の平均値が大きい。

表 4-8-2 「賞賛獲得」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.2882246	115	.88590815
ときどきある	.0957077	171	.76005654
ある	.1027407	102	.70491789
よくある	-.0276419	28	.85233537
非常によくある	.3241539	19	1.12224971
合計	-.0021041	435	.82356236

表 4-8-3 「安全志向」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.1995282	115	.94395518
ときどきある	-.0305084	171	.78637527
ある	.2034688	102	.68110964
よくある	.2066542	28	.96763674
非常によくある	.0827492	19	1.17607298
合計	-.0001156	435	.85062170

4.1.9 「ネットをする時間が多く、日常生活に支障がでていと思う」トラブルと因子得点の関係

ネットへの依存を感じた頻度ごとに「他者への従属性」「生理的欲求に対する耐性のなさ」「賞賛獲得」および「快楽・新奇性を追求する」因子の因子得点の平均を求めるとそれぞれ表 4-9-1～4 に示す通りである。

表 4-9-1 「他者従属」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.1415336	144	.90748282
ときどきある	.0041769	125	.82157694
ある	-.0417367	76	.84942788
よくある	.3481010	50	.76362919
非常によくある	.1432995	39	1.11417956
合計	-.0000852	434	.88769151

いずれの因子得点の平均値も経験のある群の平均値が大きくなっている

表 4-9-2 「欲求耐性」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.1214536	144	.87280455
ときどきある	-.0621691	125	.86132128
ある	-.0942028	76	.87339245
よくある	.2430947	50	.75911273
非常によくある	.5039210	39	.98310066
合計	-.0014106	434	.88513658

表 4-9-3 「賞賛獲得」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.1269957	144	.87722559
ときどきある	-.0405462	125	.80321040
ある	.0950479	76	.71671014
よくある	.1968184	50	.76511682
非常によくある	.1340392	39	.90669976
合計	-.0024506	434	.82448107

表 4-9-4 「快樂追求」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0673482	144	.86932090
ときどきある	-.0911814	125	.77734800
ある	.0936044	76	.86327411
よくある	.1610078	50	.73244655
非常によくある	.1640119	39	.87589332
合計	.0010714	434	.83102945

4.1.10 「ゲームをする時間が多く、日常生活に支障がでていると思う」トラブルと因子得点の関係

デマを信じた経験の頻度ごとに「生理的欲求に対する耐性のなさ」「賞賛獲得」および「快樂・新奇性を追求する」因子の因子得点の平均を求めるとそれぞれ表 4-10-1~3 に示す通りである。いずれの因子得点の平均値も経験のある群の平均値が大きくなっている。

表 4-10-1 「欲求耐性」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0515291	295	.89536094
ときどきある	.0108479	73	.80806466
ある	.1516841	35	.85679492
よくある	.0280702	18	.82607608
非常によくある	.6140591	13	1.05922615
合計	-.0014106	434	.88513658

表 4-10-2 「賞賛獲得」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0578999	295	.80621832
ときどきある	.0520385	73	.84727300
ある	.1084676	35	.86654084
よくある	.3263099	18	.79222155
非常によくある	.1960114	13	.97232795
合計	-.0024506	434	.82448107

表 4-10-3 「快樂追求」因子得点の平均値

頻度	平均値	度数	標準 偏差
まったくない	-.0617790	295	.86888600
ときどきある	.0637460	73	.75864462
ある	.2759927	35	.63252861
よくある	.2511909	18	1.04577227
非常によくある	-.0188664	13	1.04202092
合計	.0008400	434	.85136954

4.2 欲求尺度の測定による予測されるトラブルの注意喚起の可能性

各人がもつ欲求の度合いとインターネット上のトラブルの経験に一定の傾向があることが見て取れた。ネット上のトラブルの頻度と因子得点の平均値は正の相関を示している。ただし表にも示したように因子得点の標準偏差は大きく、明確な関連を示すまでにいたっていない。これは先にも述べたように内的要因のみでネット上のトラブル経験を説明できないからである。ただ因子得点の小さなものはネット上のトラブルの確率は低いと考えられ、因子得点が増加するごとに、トラブルに

遭遇する確率も高くなると考えられる。たとえば他者への従属欲求の強いものはネットに書かれているデマを信じたり、ネットに依存したりする確率が高くなる。このことは常識的に考えても納得のいく因果関係であろう。また逸脱した刺激を追求するものは、覚えのない請求メールを受け取ったり、知らない人からの誘いのメールを受け取ったり、自分の送ったメールで相手を不愉快にしたりというリスクに曝されやすいことも同様である。

こうした欲求の度合いとの関連性を用いて、各人の特性に合わせた注意喚起を行う教育ツールを作成することで、効果的にセキュリティ、情報倫理教育を行うことはできないだろうか。自分の内的要因の特徴を明確にすることで、リスクを明示的に理解すれば、トラブルに遭遇する確率も減少させることができるであろう。

5. おわりに

5.1 研究結果利用の方向性

交通関連の安全対策としてシミュレータ教育、小集団活動による労務管理的手法、安全教育と大きく3つの方法がある。これをネットに関するセキュリティ教育、情報倫理教育にあてはめて考えてみると、講義などを中心とする安全教育が多いと考えられる。

今後は各人の欲求の度合いとネット上のトラブルの関連を用いて、まず各人の欲求の特性を測定し、それに合わせた教育を提供するツールを開発することが考えられる。例えばCBT、WBTを用いて、各人の欲求の状況を測定し、発生しやすいトラブルのシミュレーションを実施し、トラブルを追体験するといった手法が考えられる。またCBT、WBTでな

くても簡易検査紙を作成し、それをもとに小集団で議論するといった方法も想定できる。

いずれにしても個人にとどく形で情報提供を行うことにより、トラブルに遭遇する確率を下げ、適正にインターネットを利用できるよう促すことができる。

5.2 今後の課題

今回の調査は調査対象の範囲の面では、女子学生に限定的なものであったため、今後は男子学生も含めた幅広い調査を実施し、欲求の特性とネット上のトラブルの関連を把握していくことが必要である。

因果関係の追究という面では、本研究では単一の因子とネット上のトラブルの体験の関連を調査した。今後、複合的に因子が組み合わさった場合とネット上のトラブルの関連を明確にすることにより、より精度の高い判別ができる可能性もある。また欲求の特性だけでなく、「心の理論」を活用した検査を行うことにより、ネット上のトラブルとの関連を明確にすることができる可能性もある。

内的要因だけでなくインターネットの利用時間や利用環境、セキュリティに関する教育などの外的要因とも組み合わせれば、さらに確実にネット上のトラブルとの因果関係を説明できる。

ネット上のトラブルと関連する内的要因および外的要因のモデルを明確にすることにより、さらに精緻な教育を行う可能性を追求することができる。

謝辞

本研究はJSPS 科研費 25330429の助成を受けたものです。

注

1. 「平成 25 年上半期の出会い系サイト等に起因する事犯の現状と対策について」警察庁
広報資料 平成 25 年 9 月 12 日
<http://www.npa.go.jp/cyber/statics/h25/pdf02-1.pdf>

古澤照幸, 欲求・行動の心理学, おうふう,
pp72-73, 2013

参考文献

- 豊田雄彦, 竹内美香, 市川博, 田代光輝, インターネット利用リスクを減少させる教育プログラム調査 - 技術・家庭科, 情報科, 大学情報リテラシー科目に関する調査 -, 自由が丘産能短期大学紀要, 第 47 号, pp 1-12, 2014
- 田代光輝 インターネットトラブルの分類方法の提案
情報社会学会誌,
Vol.6, No.1, pp101-114, 2011
- 青少年のインターネット・リテラシー指標
- 指標開発と実態調査 -
総務省総合通信基盤局 総務省情報通信政策研究所
http://www.soumu.go.jp/main_content/000175589.pdf (参照日 2014-9-27)
- 大学生のための悪徳商法対策教育用チェックリスト-適用の基礎的研究- 産能短期大学紀要, 第 33 号, pp 11-24, 2000
- Yumiko NARA and Minako YOSHII,
Internet Information Ethics and Ordinary Morals: An Empirical Study of University Students, J. Home Econ Jpn, Vol 53 No. 12, pp1167-1175, 2002
- Aria.N., M. Ichimura, K. and Watanabe,
The Relationship between Psychosocial Factors and Cell phone- Userelated Risk Behavior in Junior High School Students, School Health 6, pp12-23, 2010

付表 1 質問項目一覧

[欲求の特性に関する質問]

以下の 60 項目について「あてはまらない」「ややあてはまらない」「どちらともいえない」「ややあてはまる」「あてはまる」の 5 段階で尋ねた。

- 1 「身体がきつい」仕事や課題は我慢できない方だ
- 2 地震や災害のうわさ・デマを聞いて、非常用の準備をしたことがある
- 3 ひとりしていると不安になる
- 4 お金持ちになりたい
- 5 絶対的に信じられる相手や人物に出会いたい
- 6 生活に刺激を求めている
- 7 気持ちに体力が伴わない
- 8 地震や災害は、その能力や知識を持った人なら予知できるのだと思う
- 9 新しいことをする時は、ひとりよりも何人かの仲間と一緒に試したい
- 10 他の人から注目されることが好きだ
- 11 間違っていることを見たら許せない「正義漢」だと思う
- 12 面白いこと、愉快なことが大好きだ
- 13 身体が苦しいことは避けて通りたい
- 14 空気・水・食物からは、できるだけ汚染部室を除去するよう努力したい
- 15 仲間同士の気分をよくするために自分が我慢することも多い
- 16 高価だが、ブランド商品が好き
- 17 自分にしかできない「独自の」何かを完成させたいと願っている
- 18 危ないことやスリルのある遊びが好きだ
- 19 持久力はあまりない
- 20 感染症の流行についての情報は敏感な方だと思う
- 21 相手の気分を害するのではないかと不安で、言いたいことが言えないこともある
- 22 チャンスがあれば、ミュージシャンや俳優やタレントになりたい
- 23 純粋な生き方に憧れている
- 24 好奇心が強い方だ
- 25 おいしい食べ物や気持ちのよいことに誘惑されやすいかもしれない
- 26 環境汚染の影響や感染症は自分の努力で防ぐことができると思う
- 27 気がつくのと、他の人たちと同じような行動をとっていることがある
- 28 他の人に自慢できるような友達や恋人が欲しい
- 29 真理や完全な美に憧れていて、自分でも近づきたいと思っている
- 30 今までに経験したことがないようなことを試してみたい
- 31 清潔な衣類・おいしい食物・快適な住居などに恵まれていて、苦労したことがない
- 32 状況が「危険」なのか「安全」なのか、他の人からの情報で判断することも多い
- 33 頼まれたら「嫌だ」と言えないところがある
- 34 「一般人」「その他大勢」「大衆」にはなりたくない
- 35 曲がったことは嫌いだ
- 36 新しい遊びや食べ物を他の人より先に試したい
- 37 自分が快適であることに對して、わがままなところもあると思う
- 38 汚染されていることが話題になったような食品は食べないようにする
- 39 流行に敏感な服装や髪型や化粧をしている
- 40 特別な人間でありたい

- 41 向上心にあふれた人間だ
- 42 もし法律で罰せられないなら、試してみたいことがある
- 43 体力がなくて、どうしてもしたいと思っていたことをあきらめたことがある
- 44 安全のための「お守り」や「おまじない」を信じている
- 45 他の人と違う意見なら黙っていることが多い
- 46 他の人から感謝されるようなことがしたい(されるような人になりたい)
- 47 なりたいと思うものになるためには努力を惜しまない
- 48 パンジー・ジャンプやスカイダイビングを試してみたい
- 49 身体的な快楽を追求するタイプだ
- 50 からだに悪い食べ物を避け、「○○に効く」と言われるものを食べるようにしている
- 51 コンパなどで仲間が盛り上がっている時、ひとりだけ先に帰れないと思う
- 52 親、友人、他の人からほめられたい
- 53 他の人が好きことは何でもしてあげたい
- 54 遊園地などでは、スリルのあるジェットコースターやフリーフォールが好きだ
- 55 身体的な限界に自分を追い込むことはしたくない
- 56 「安全」や「縁起」のために良いといわれることなら、ことわざや迷信でも気を使う
- 57 他の方の意見に合わせて自分の判断を変えることもある
- 58 立派な服や物を身につけていると安心する
- 59 正しい人間でありたい
- 60 危険・違法とわかっていることを、スリルのために、わざと試したことがある

[インターネット上のトラブルの経験に関する質問]

以下の 13 項目について「まったくない」「ときどきある」「ある」「よくある」「非常によくある」の 5 段階で尋ねた。

- 61 インターネットによる通信販売・オークションで品物が届かなかったことがある
- 62 インターネットによる通信販売・オークションで返品に応じてもらえなかった経験がある
- 63 覚えのない請求のメール・メッセージを受け取ったことがある
- 64 違法な薬物などの購入を呼びかけるメール・メッセージを受け取ったことがある
- 65 知らない人から誘いのメール・メッセージを受け取ったことがある
- 66 読んで不愉快になるメール・メッセージを受け取ったことがある
- 67 自分の送ったメール・メッセージで相手を不愉快にしたことがある
- 68 ネットに書かれているデマを信じたことがある
- 69 ネットをする時間が多く、日常生活に支障がでていると思う
- 70 ゲームをする時間が多く、日常生活に支障がでていると思う